

第28回(通算2689回)例会記録 2016年(平成28年)2月10日(水)

- 司会進行/遠藤 正夫
- ロータリーソング/えんどうの花・四つのテスト
- 会員卓話/米盛 博和氏
- ビジター/大内 政彦氏(横浜東 RC)
- メークアップ/仁開一夫・宮良榮子・玉城守雄
上勢頭 保(計4名)

出席報告

会員総数 39名 出席義務会員 38名
出席数 23名 欠席数 15名
出席率 60.59%(2月 通算出席率 63.16%)

本日のニコニコ

BOX ¥3,000(累計¥38,000)
コイン ¥2,403(累計¥80,006) **合計¥118,006**

- 😊 毎月沖縄に来ています。今後ともよろしくお願ひします。(大内 政彦)
- 😊 節分会、大勢の人が参りまして豆がなくなり大変でした。(小林 昌道)
- 😊 母がカジマヤーを迎えました。(白道 直行)

会長挨拶：新 賢次



本日はご案内の通り、米盛パスト会長の卓話でございます。今年の例会の方針としまして、会員卓話を充実させようという事で、やっておりますが、なかなか引き受けてもらえないという状況ですが、今日会長経験者の米盛さんに引き受けて頂いたという事で大変嬉しく思います。ありがとうございます。

ご存知の方も多いと思いますが、米盛パスト会長 2008-09 年に会長を務められています。1991 年に入会されていますので、25 年くらいの在籍がという事で、漢那パスト会長に次ぐ二番目古い在

籍だと思ひます。これだけ長くロータリーに在籍しておりますので、いろいろお話があると思ひます。2009 年に岡崎南 RC と友好クラブ締結しております。その関係で今年度石垣 RC55 周年記念式典・祝賀会には 30 名ほどの参加があると聞いております。それも米盛パスト会長がパイプをつけて下さったおかげだと思ひます。職業分類は生コン配布となっております、会社はご存知の通り八重山生コン工業(株)でございます。9月2日付の週報表紙で紹介されていますが、経営理念(資源を有効に活かし 創業の精神 チャレンジ精神をもち 誠意を尽くして 地域と共に歩み続ける)創立 50 周年を迎えるという事です。生コンのご用命がありましたら、会員の皆さんどうぞ米盛パスト会長によりしくお願ひしたいと思ひます。

会員卓話:米盛 博和氏

～テーマ「島々美しや」～

新会長、ご丁寧なプロフィール紹介ありがとうございます。身が縮まる思いでございました。

私のライフワークとしている島めぐり。離島めぐりが好きなので、暇を見つけて回っております。基本的には自転車を持って回る、自分の足で回るという事で、折りたたみの自転車を飛行機に持ち込んで、空港に着いたらそこから回ると、宿泊はできるだけ安い民宿、2食付きだと6千円以下、素泊まりだと4千以下、もしくはテントで野宿をするというのをコンセプトに離島めぐりをしております。

今まで八重山はほとんど回っています。宮古は伊良部島、池間島、下地島、来間島、多良間島、5つ回っていますが、伊良部島、池間島、下地島は共通点があります。宮古島と橋が架かっているんです。伊良部島が去年完成したばかりですが、下地島と伊良部島、隣でくっついた島ですから、橋が架かってどう変わって来たかという事も、自転車で回るとよく感じやすいし、見えてくる。共通しているのが島だと船で渡ると交通の便が不便で、ほとんどがリゾート化している島がほとんどです。小さい島ですから漁業、農業、規模が小さい農業の形態だったのが、土地がかなり付加価値を持って来ることによって、

別荘地とかリゾート地が出来ていると、しかしそれに伴う家族兄弟間の争いが起きているのも現実で、橋がかかる事で利便性が良くなると人間のいろんなドラマが出てくるのは世の常だなと旅をして感じました。

多良間島は宮古と石垣のほぼ中間、石垣寄りです。多良間島から平久保半島が良く見えます。約50キロですから、すぐ近くに石垣島が見えます。離れた島ですので、観光化がされていないという事と、各離島そうですが島興しで何をしようかという事で、ヤギ、多良間でピンダと言うんですが、私が去年の5月たまたまテントで泊まりながら行った時には、ピンダアースというヤギの喧嘩、頭を合わすという意味ではないかと思ひますが、その大会がありました。その大会の中に人間のヤギのピンダ鳴き声大会というのがありまして、飛び入りで出場しました。子供の部と大人の部、大人の部8名出ましたが、なんと見事優勝致しました。子ヤギ、お母さんヤギ、お父さんヤギの3種類の鳴き声をして見事優勝して多良間の二升五合の酒、自転車で運ぶのも苦労しました。キャンプ場までの5キロの道のりを抱えてようやく帰ったという思い出があります。

次は沖縄本島近辺から言いますと伊江島です。5月のゆりまつり、4月今年9日に伊江島一周マラソンがあります。一昨年も出て、今年もハーフマラソンに出ようかなと思っております。伊江島も米軍の飛行場跡が残っていて、歴史上大変な思いをした島という事で、今島興しでマラソン、ゆりまつり、あとは落花生の産地ですので、それを黒糖とまぶして特産品。あと伊江島最初に行ったのが約30年前にトライアスロン大会に初めて出たのが伊江島で、2月の寒い中、当時はウェットスーツもなく、そのまま泳いで大会に出た記憶があって、その時に思ったのが豊かな島だなと、キビの作り方、フェリーも村営、製糖工場も村営という事で、島自体がかなり経済力のある島だなと、沖縄本島各離島、我々宮古、石垣もそうですが、小さい島ですが独特な経済文化があって、その島に住む人の知恵、力というのが島によって違うというのが特色を感じて旅の面白い所だと思ひます。

東に行くと平安座島、伊計島、浜比嘉というのがあります。伊計島もリゾート化されています。昭和54年頃アメリカのガルフ社という石油会社が平安座島に海中道路を代わりに造ってあげるから、石油備蓄基地を造らせてくれという事で、伊計島と宮城島

は反対したけど、平安座島の住民が同意したおかげで海中道路を造って、そこに石油備蓄基地を現在あります。それから伊計島に橋が架かって、宮城島してもう1つ浜比嘉という小さい島にも橋が架かったという事で、島の生活、経済環境もずいぶん変わったように感じます。島というのは橋が架かると架からないのでは、島自体の土地の付加価値が違うという事は、人間どういった事を考えるかというのが、昔も今も人の心情の変化、経済の変化は小さい島ほど敏感に感じるのではないかと思ひます。

そして毎年行きたくなる伊是名島というのは、第二尚円王、金丸という人が農家の生まれですが、田んぼを作っていると、金丸の田んぼだけ干ばつでも水が豊富で、周囲から妬まれたらしいです。金丸は23の時に恋人も捨てて沖縄本島に渡って、そこから今帰仁城から下って那覇辺りで第二尚円王になってという事で、有名な出生の地ですから、そこに行ってみようという事で伊是名島に行きました。たまたま日曜日でフェリーが付くと伊是名小学校の子供達がダンスを踊って観光客を迎えてくれるんです。ターミナルに着くと商工会の青年部の青年がここにこして待っていて、話をして伊是名島と書いた看板の前で、スマートフォンで記念写真を撮ってくれたんです。そしたら青年が伊是名島にきたという写真をネットで配信してもらえますかと、そしたらぜひ1杯プレゼントしますと、なるほどいい知恵だなと、島に住んでいる人たちが歓迎してくれる気持ちを感じられました。伊是名島、田んぼもあって山もあって、石垣島を小さくしたような感じで、県内で石垣島に次いで米の植え付け量が2番目の米所と、美味しい酒が2つの銘柄があります。もずく養殖が盛んで、もずくの加工食品、またヤギ汁が美味しいです。沖縄県の経済界にも伊是名島出身が多いと、皆さん知っていると思ひますが、島出身の人は結束力が強いんです。子供の頃からDNAを引き継いだのか小さい島だけど、大きい所に行ったら商売を頑張るという気質を持った人が多いような気がします。

そして慶良間諸島の座間味島。戦争当時250名ほどの島民が米軍が上陸してくるので、集団自決という悲しい歴史があるのが座間味島で、ほとんど山です。今はほとんどがダイバー観光、民宿が15件くらいあります。座間味島の素晴らしいのは移住者の別荘がないという事。土地を売らないと、座間味諸島というのは景観がいいから見るだけでも素晴らしい、ダイバーにとっては天国のような場所と言わ



世界へのプレゼントになろう

K. R. ラビ・ラビンドラン

会長:新 賢次 副会長:前木 繁孝
直前会長:上原 秀政 幹事:宮良 薫
副幹事:前原 博一 SAA・出席:羽地 宏幸
情報・会報:名渡山 秋彦

創立記念日 1962年3月12日 (55周年)

2016年(平成28年)2月17日(水) 第29回 例会(通算2690回)

れています。そこに毎年ダイバーが訪れて、長期間
いたいのので土地を売ってくれと、よく話があるそう
です。島を守っていくために、絶対島の人は土地を
手放さないという事です。

那覇から 360 キロ、北大東島南大東島に行ってき
ました。北大東島はまず目を引くのが岩壁工事、掘
り込みなんです。島全体が岩板だから掘り込んで下
げて港にするという、独特の掘り込みで、世界でも
例を見ない掘り込み型港という事と、北大東島に行
ったら工事の看板が、当然公共工事がありますから、
それが一業者なんです。100%与儀組。与儀組の他に
大東建設と元請は与儀組。与儀組の社長は八丈島出
身で、大東島に移って来て与儀組を立ち上げて、県
の受注の 100%与儀組。独占企業の最たる形態が残
って、それで上手く島が活性化していると。大東島
は歴史が浅いです。明治 33 年に玉置半衛門という人、
尖閣諸島の古賀辰四郎さんは尖閣・魚釣島に鯉節の
製造工場を作ったという話ですが、2 人の共通点はア
ホウドリです。尖閣列島に昔アホウドリがたくさん
いた、沖ノ鳥島にもアホウドリがいた。玉置氏が明
治 21 年に羊を放牧して養うという事で、鳥島を無償
で借りたんです。実はアホウドリがヨーロッパでは
貴重な布団の材料だという事を聞いて、手あたり次
第捕まえて巨万の財を成したと。その開発によって
アホウドリは一時絶滅危惧種に追い込まれた。玉置
氏はその金を持って東南アジアをめぐる、北大東
島を発見してそこに 4 回挑戦してようやく上陸した
と、その時に八丈島から人夫と沖縄からも連れて行
ったと、そこで畑を開拓しながらサトウキビを植
えて、東洋製糖、それが大日本製糖というふうに製糖
工場の島、北大東島。南大東島も同じく玉置氏が開
拓したと。南大東島は大きな自然の池があるので水
が豊富だと、大東島は小さな池はあるけど水は貴重
品なんです。北大東島のサトウキビの作り方は細か
いパイプが通って独特の散水設備になっています。
県内でも珍しい栽培をしています。

島の景観の美しさそして人情のやさしさ、作家の
立松和平さんがロータリーの 30 周年の記念式典で
言ったのを思い出します。独特の言い回しで、夜中
に民家をトントンと戸を叩くと、人の気配はするけ
どシーンとしている。またトントンと叩く、そした
ら戸の隙間から様子を伺って、ようやく玄関先に出
てくる。玄関先で少し話して信用してもらおうと座敷
に上げてくれる。また仲良くなるとご馳走してくれ
る。また仲良くなると酒を出して、三線を弾いても

てなしてくれる。外から来るものには警戒心を持つ
が、打ち解けるともてなすのが沖縄の人のやさしさ
と、立松和平さんが言っていました。

先週の日曜日石垣市庁舎の住民投票がありました
が、位置選定というのは新空港もそうだし、石垣第
二中学校の時の位置選定、商工高校の時、52 年前に
大浜町と石垣町が合併した時もいろいろ闘争があり
ました。それを踏まえて平和で豊かな石垣に住んで
いる我々は、先人達の難儀さが過去にあって、我々
が今住んでいるという事も、島を巡って時々思い出
すこともいいんじゃないかなと思います。

☆。☆。例会風景。☆。☆



離島めぐり、
楽しそうですね。



ビジターの横浜
東 RC の大内さ
んとバナー交換



<今週の職場:桃林寺(小林 昌道会員)>

謹啓時下 春華方開之候

日頃から何かとご高配にあずかり感謝御礼申し上げます。桃林寺は年間行事として、一月 初観音祭
八十八歳、百歳寿詞伝達式。二月 節分会。三月 春の彼岸会。四月 花まつり。六月 沖縄戦終結慰
霊行。八月 新亡供養法要。九月 秋の彼岸会。十一月 七五三詣り。十二月 すず払い、奉納餅つき、
除夜の鐘でございます。また、土曜坐禅会も行っております。

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp